

# Update 3 データ移行に関する注意点

Update3は2023とは別にインストールされます。  
2023のデータをUpdate3で使用する場合の注意点を説明します。

## dgn データについて

データの保存先も別となるため、2023のデータを利用するには場所を指定する必要があります。

## dgn データの保存先フォルダー

Update3と2023の初期フォルダーはそれぞれ以下のようになります。

### ■ Update3

C:\ProgramData\Bentley\TrendRoad Designer 2024.00\Configuration  
¥WorkSpaces¥JAPAN¥WorkSets¥サンプル¥dgn

※フォルダー名は「TrendRoad Designer 2024」となります。

### ■ 2023 Release2

C:\ProgramData\Bentley\TrendRoad Designer 2023.00\Configuration  
¥WorkSpaces¥JAPAN¥WorkSets¥サンプル¥dgn

### ■ 2023 Release1

C:\ProgramData\Bentley\TrendRoad Designer 10.12\Configuration  
¥WorkSpaces¥JAPAN¥WorkSets¥サンプル¥dgn

## dgn データの開き方

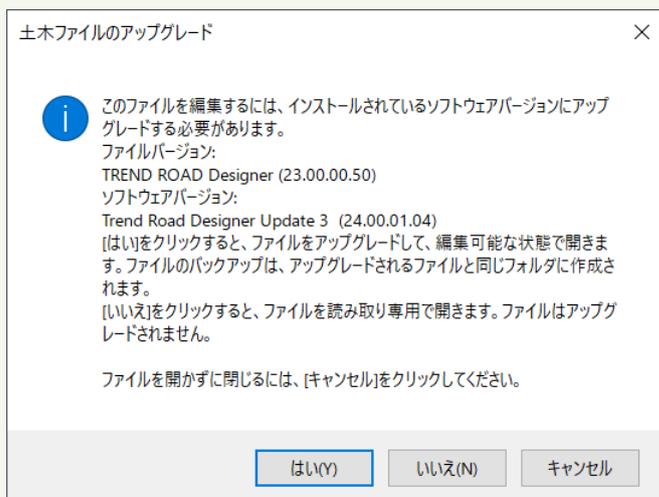
ワークセットを作成していたり任意のフォルダーに保存していたりする場合は、[開く] からファイルを指定して開きます。



## memo

### 2023 以前で作成されたデータ（dgn ファイル）を Update3 で開いた場合

下図のような確認メッセージが表示されます。



はい : Update3 形式にアップグレードされて開きます。

※Update3 にアップグレードされた dgn ファイルは、2023 以前では編集できません。

※バックアップファイルが同じフォルダーに作成されます。（×××.dgn⇒×××.dgn.bak）

いいえ : 読み取り専用で開きます。

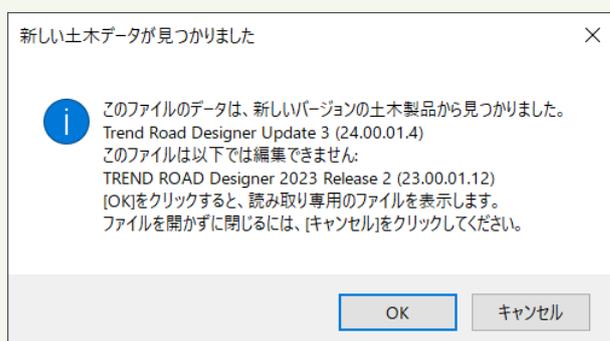
※ファイルはアップグレードされません。

キャンセル : ファイルは開きません。

## memo

### Update3 で作成されたデータ（dgn ファイル）を 2023 以前で開いた場合

下図のような確認メッセージが表示されます。



OK : 読み取り専用で開きます。

キャンセル : ファイルは開きません。

# 標準断面テンプレートについて

標準断面テンプレートなどの設定ファイルも別となるため、2023のデータを利用するには場所を指定する必要があります。

## 標準断面テンプレートの保存先フォルダー

Update3と2023の標準断面テンプレートのフォルダーはそれぞれ以下のようになります。

### ■ Update3

C:\ProgramData\Bentley\TrendRoad Designer 2024.00\Configuration  
¥Organization-Civil¥Civil Default Standards - JAPAN¥Template Library  
※フォルダー名は「TrendRoad Designer 2024」となります。

### ■ 2023 Release2

C:\ProgramData\Bentley\TrendRoad Designer 2023.00\Configuration  
¥Organization-Civil¥Civil Default Standards - JAPAN¥Template Library

### ■ 2023 Release1

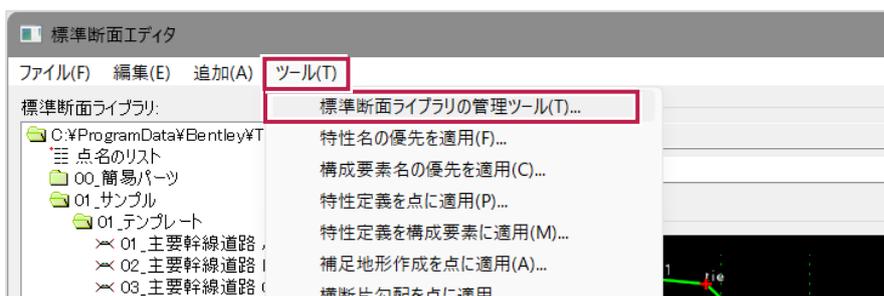
C:\ProgramData\Bentley\TrendRoad Designer 10.12\Configuration  
¥Organization-Civil¥Civil Default Standards - JAPAN¥Template Library

## 2023で作成・編集した標準断面の利用方法

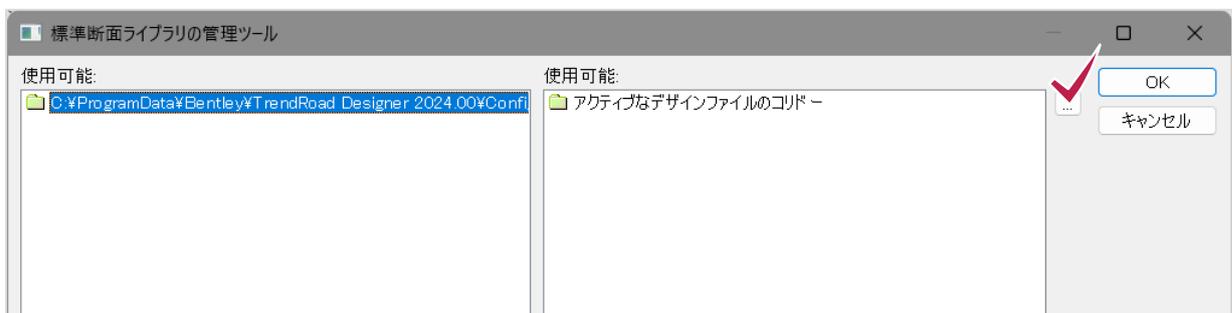
2023で作成・編集した標準断面を利用するには以下の手順が必要となります。

### ■ 管理ツールでインポートする場合

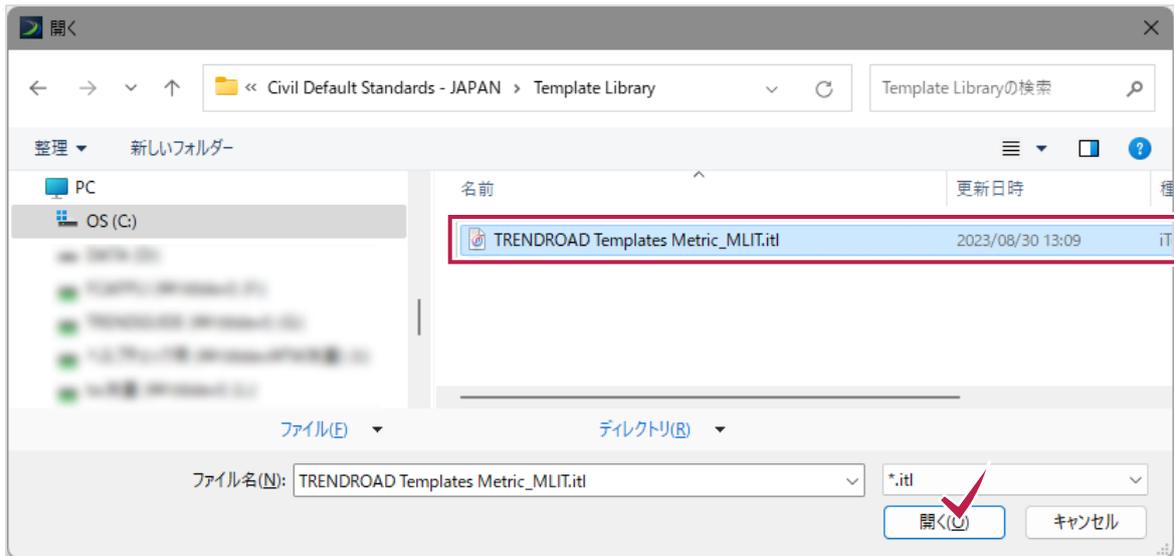
- 1 [標準断面エディタ] の [ツール] - [標準断面ライブラリの管理ツール] を実行します。



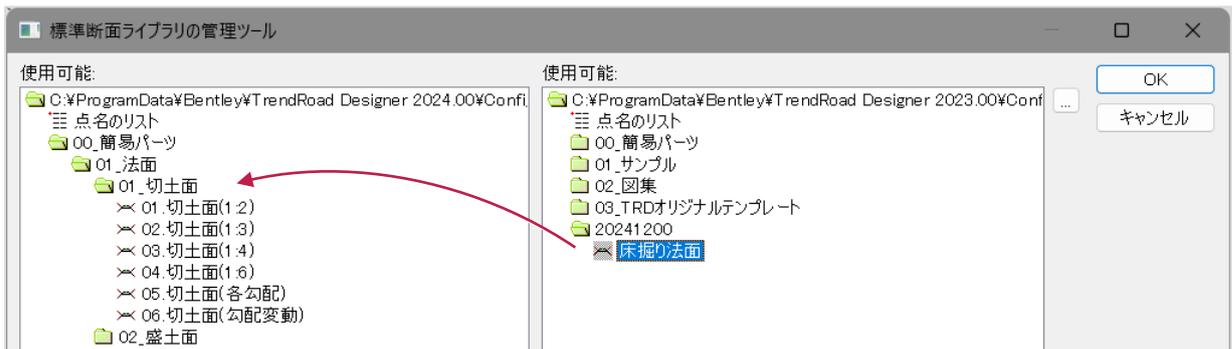
- 2 右側のパネル横の三点リーダーをクリックします。



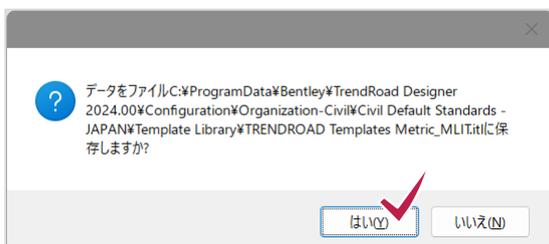
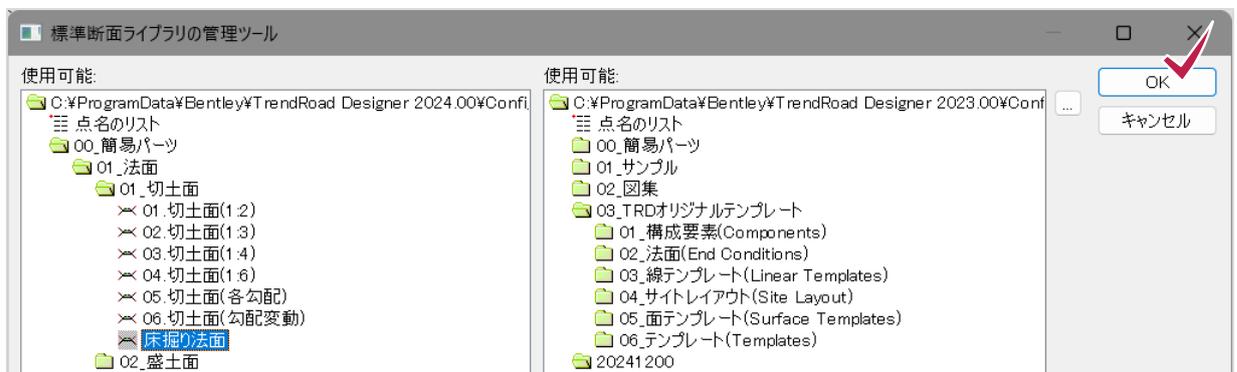
3 2023の標準断面テンプレートファイルを指定して開きます。



4 右側のパネルに2023の標準断面が表示されます。  
標準断面を選んで右から左へドラッグ&ドロップしてコピーします。



5 [OK] すると確認のメッセージが表示されます。  
[はい] をクリックします。



## ■ 標準断面テンプレートを直接開く場合

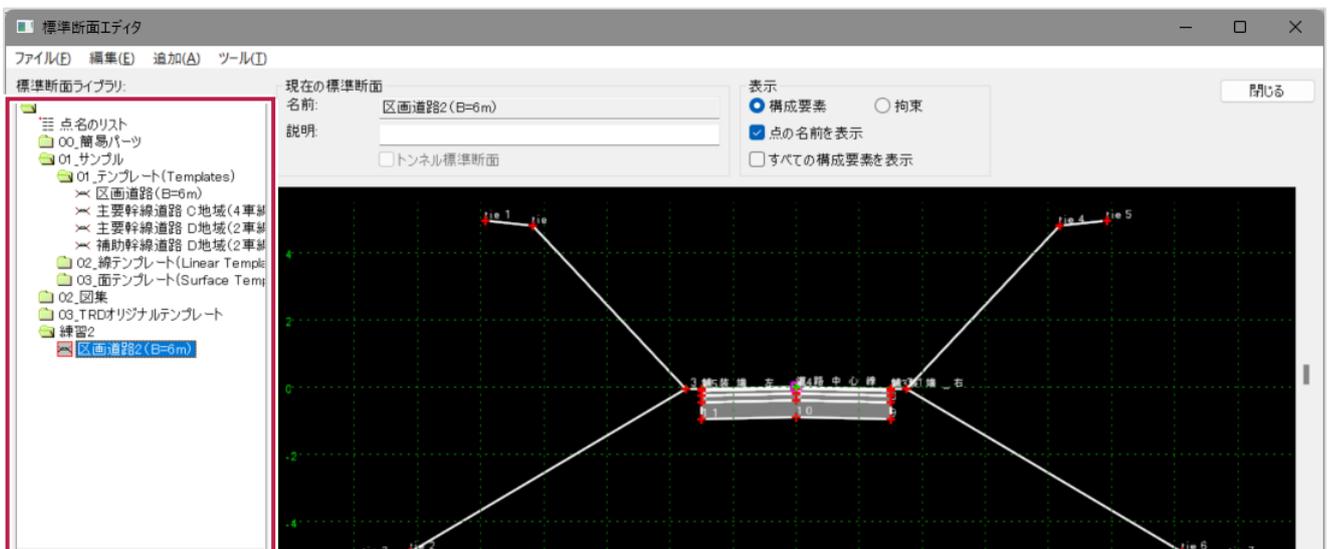
- 1 [標準断面エディタ] の [ファイル] - [開く] を実行します。



- 2 2023の標準断面テンプレートファイルを指定して開きます。  
※2023で「名前を付けて保存」していた場合は、そのファイルを指定してください。



- 3 2023の標準断面が表示されます。

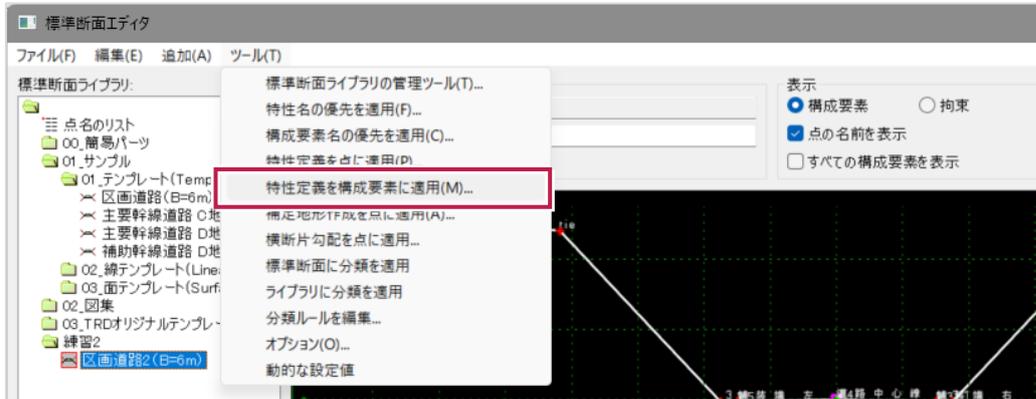


## ■ 特性定義のリンク切れの修正方法

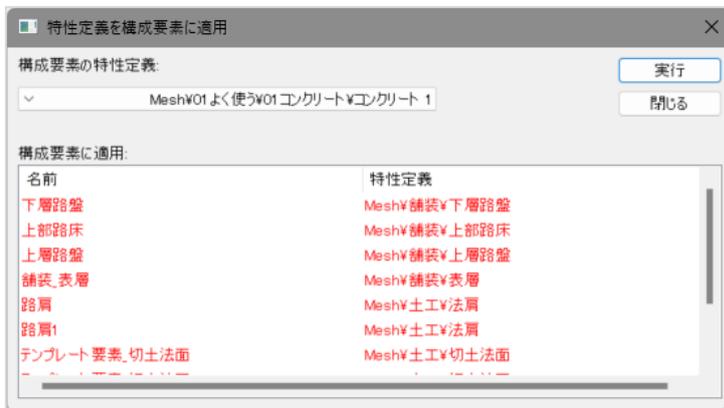
Update3では、使い勝手をよくするため特性定義のフォルダー構成を一部変更しました。

そのためUpdate3で2023の標準断面を表示すると、構成要素の特性定義がリンク切れし白表示になることがあります。その場合の修正方法を説明します。

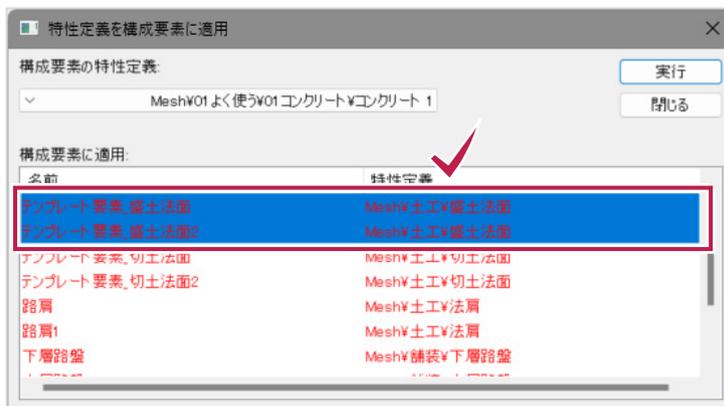
- 1 [ツール] – [特性定義を構成要素に適用] を実行します。



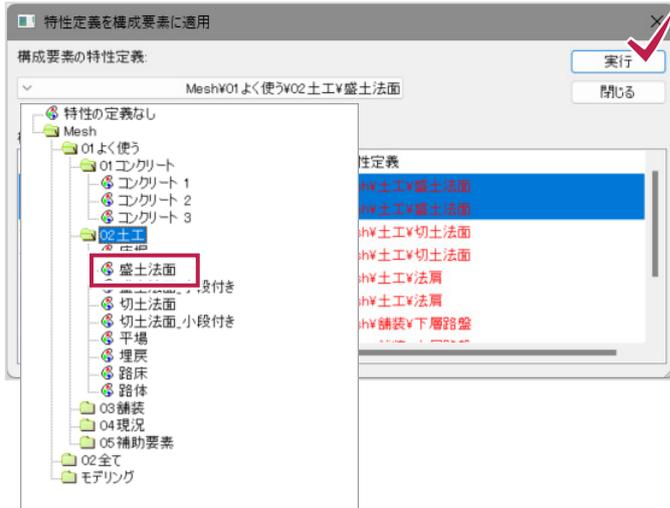
- 2 ダイアログの上部に構成要素の特性定義を選択するドロップダウンがあり、その下に各構成要素名と適用されている特性定義が並んでいます。特性定義がリンク切れしている場合は赤字で表示されます。



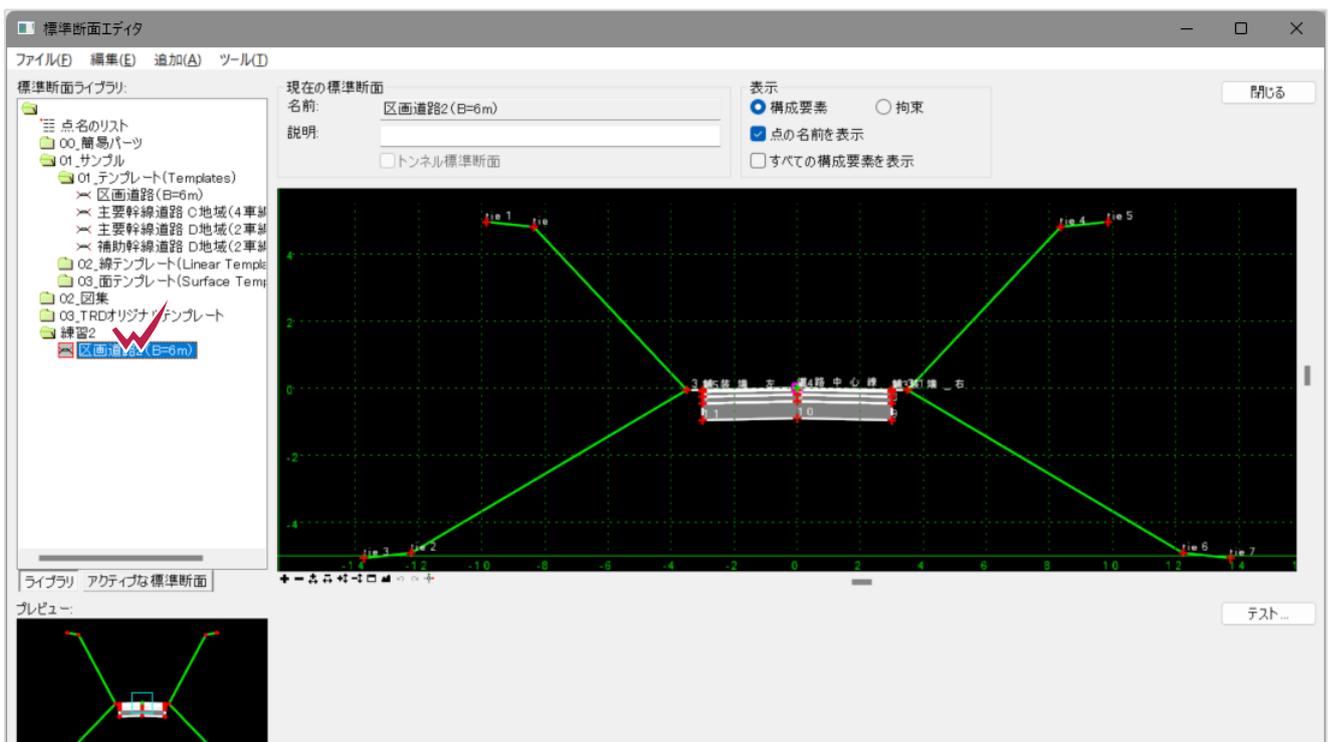
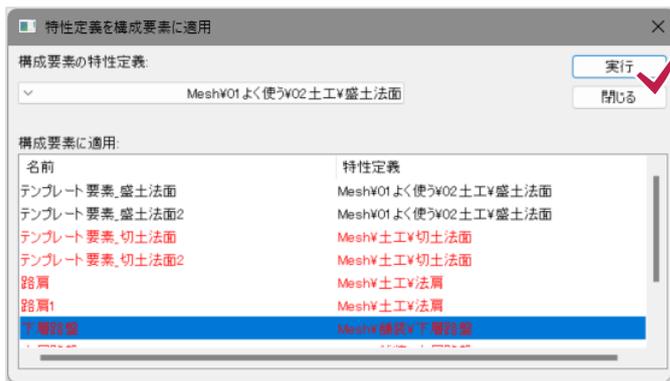
- 3 [特性定義] 列をクリックしてソートし、同じ特性定義はCtrlキーで複数選択します。



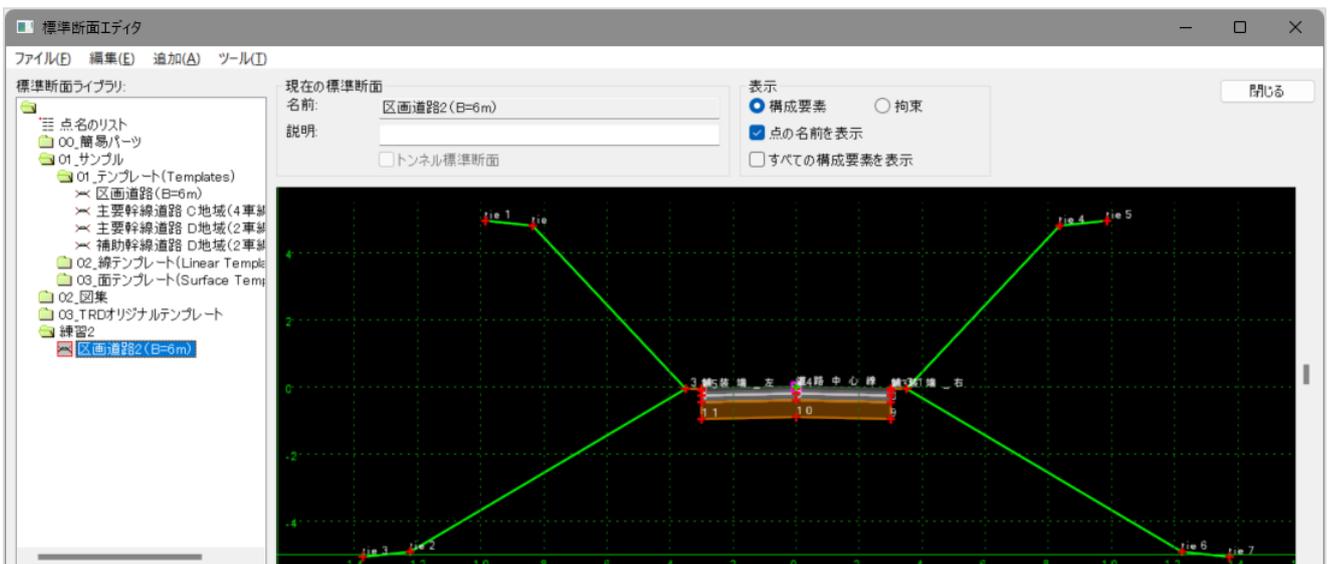
4 上部の特性定義のドロップダウンから同じ特性定義名を選択し [実行] をクリックします。



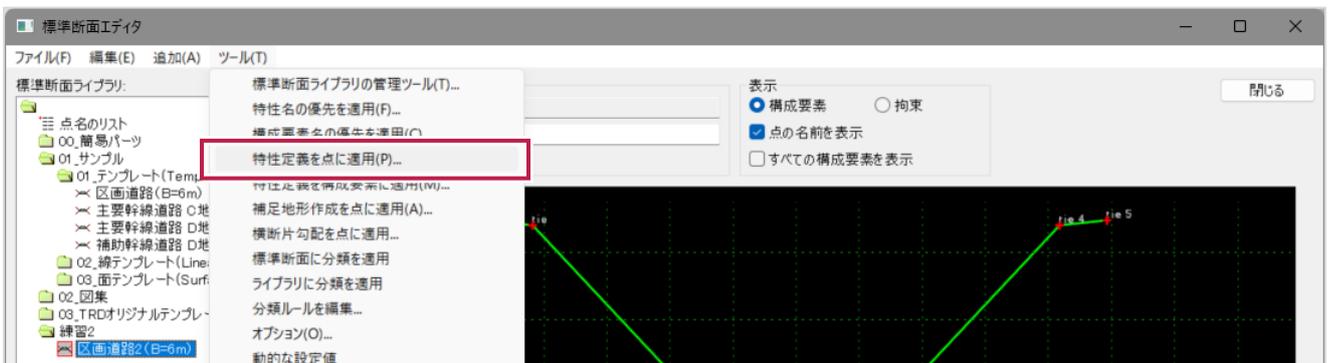
5 リンク切れが修正され、構成要素名と特性定義名が黒字で表示されます。  
ダイアログを閉じ、標準断面エディタでテンプレートをダブルクリックして画面を更新して修正した構成要素の色が白から各特性定義の表示に変更されたことを確認します。



6 同様の手順で残りの特性定義も修正します。



7 点の場合は白表示されていませんが、[ツール] - [特性定義を点に適用] を実行し構成要素と同様の手順でリンク切れを修正します。



8 修正後は [ファイル] - [保存] でitlファイルを保存します。

